



2026年6月1日発行  
1952年5月13日発刊  
毎月1日(月刊定価1部60円)  
(購読料はYMCA会費に含まれています)  
公益財団法人名古屋YMCA  
〒464-0848  
名古屋市千種区春岡1丁目2番7号  
TEL052-757-3331 FAX052-757-3332  
●発行人 中村 隆  
●編集人 名古屋YMCA広報

# YMCA News

6

みんな電力

Powered by UPDATER, INC.

## 持続可能な地球のために

— 営農型太陽光が作る持続可能な日本の未来 —

(株)UPDATER 上席執行役員 真野 秀太



### 迫り来る気候危機と再生可能エネルギーの重要性

現在、地球温暖化は未来の予測ではなく、私たちが日々実感する現実の問題となっています。近年多発する記録的な猛暑や猛烈な豪雨は、人間活動による温暖化の影響が科学的にも証明されています。このまま温室効果ガスの削減が進まなければ、今の子どもたちが大人になる頃には深刻な食料危機や生態系の崩壊、さらには極端な気象災害によって世界中で多くの子どもたちの学習機会が奪われる未来が現実味を帯びてきます。

こうした気候変動の取り返しのつかない危機(ティッピング・ポイント)を回避するためには、石炭などの火力発電所に依存した電力システムを早急に太陽光発電などの再生可能エネルギー(再エネ)に転換し、大幅に二酸化炭素の削減をすることが重要です。これは環境負荷だけでなく、国際情勢による電気代の高騰や巨額の国富流出という経済的な脆弱性も抱えています。

### 求められる「地域・自然共生型」の再生可能エネルギー

化石燃料から再エネへのシフトは急務ですが、単に太陽光パネルを並べれば良いわけではありません。近年、一部のメガソーラー開発において、自然環境や生態系を顧みない大規模な土地改変が行われ、地域住民との間で不信感が広がるケースが課題となっています。

これからの再エネに求められるのは、地域や自然と真に調和する「地域共生・自然共生型」のモデルです。また、太陽光パネルの大量廃棄時代を見据え、埋め立て処分頼らず、パネルを構成するガラスやアルミ、金属などのリサイクルを義務化・推進していく技術的・制度的な取り組みも不可欠です。

### みんな電力が目指す「顔の見える電力」とソーラーシェアリングの可能性

こうした課題に対し、みんな電力(株式会社UPDATER)では、電気の生産者の顔やストーリー、想いを見える化した「顔の見える電力」を提唱しています。独自の厳しい調達ポリシーを設け、大規模な環境破壊を伴わず、地域住民と良好な関係が築けている全国約1100カ所の再エネ発電所と直接契約を結んで供給しています。価格重視の従来型の電力選びとは異なり、「どの電気を選ぶかによって、自分のお金を地域や持続可能な未来へ投資できる」点が他社との大きな違いです。

なかでも、日本の農業とエネルギーの未来を同時に救う大きなポテンシャルを秘めているのが、営農型太陽光発電(ソーラーシェアリング)です。これは農地の上部空間に太陽光パネルを設置し、農業を継続しながら発電も行う「食料とエネルギーの二毛作」です。現在、高齢化や離農による耕作放棄地の拡大が深刻な社会問題となっていますが、ソーラーシェアリングは売電収入によって農業の持続性を支え、地域創生や生物多様性の保全にも寄与します。日本の農地のわずか5%にこれを設置するだけで、国内の年間電力量の約20%を賄うことができるほどの可能性を秘めています。

### 広がる再エネ導入の輪と、私たちが日常で実践できること

すでにサステナビリティ経営を重視する多くの先進企業がこの「顔の見える電力」や営農型太陽光を選択しています。そしてYMCAもまた、国際的な指針「VISION2030」のもとで「持続可能な地球のために(Sustainable Planet)」を掲げ、気候変動アクションをリードしています。東京YMCAや横浜YMCA、名古屋YMCA、国際青少年センター東山荘など、すでに全国のYMCA施設で再エネ電力への切り替え(パワーシフト)が実施されており、その輪は全国へ広がっています。地球の未来を守るために、私たち個人が日常生活の中で実践できるアクションはたくさんあります。

一人ひとりの選択が集まれば、世の中を大きく変える力になります。コンセントの向こう側にある地域や自然とのつながりに目を向け、持続可能な日本の未来を一緒に考えてみませんか。

#### 真野 秀太氏

株式会社三菱総合研究所、自然エネルギー財団を経て、SBエナジー株式会社にて再生可能エネルギー発電事業に携わる。日本の再生可能エネルギー普及には需要側でのニーズ拡大とイノベーションが鍵となると考え、2018年より株式会社UPDATER(旧みんな電力株式会社)に参画。事業責任者として、サステナビリティ経営を目指す法人企業への支援等を実施。

また、2023年より脱炭素に積極的に取り組む大手企業200社以上が参加する「日本気候リーダーズ・パートナーシップ(JCLP)」の副代表も務める。

2011年東日本大震災の際には岩手県宮古市で、2016年熊本地震の際には益城町総合運動公園で復興支援ボランティアとしてYMCAの活動に参加。

# 日和田ワークキャンプ

日和田ワークキャンプは、草刈りや薪割りを中心に、夏のキャンプで子どもたちが快適に過ごせる環境づくりを目的として、月に1回のペースで開催しています。

4月のワークでは、OBOGメンバーで草刈り機に初挑戦しました。ベテランの先輩方は軽々と操作されていますが、実際にやってみると想像以上に難しく、まだまだ修行が必要だと感じています。電気やガス、水道が使えること、野外料理やキャンプファイヤーに使う薪が用意されていること。これまで当たり前だと感じていた環境が、ワークに参加することで、多くの方々の見えない労力によって支えら



れていることに気づきました。そして、日和田キャンプ場を整備して下さった先輩方のおかげで、毎年子どもたちを迎え入れることができているのだと実感しました。

今年度も、子どもたちがのびのびとキャンプを楽しめるよう、支える側としてできることを増やす1年にしたいです。その積み重ねが、これから先も多くの子どもたちを受け入れ続けられる未来につながると信じています。

幅広い世代が集う唯一無二の日和田高原キャンプ場が、子どもたちにとっての居場所であり続けてほしいと願っています。ぜひ皆さん、日和田でお会いしましょう。お待ちしております！  
(ねこぴんリーダー)



## Road to 125

### 小島とよ子さんへインタビュー



小島さんは、3人の娘さん、お孫さんが南山幼稚園の卒園児で、南山ファミリーYMCAができたときからの会員の方です。当時は大人の英語クラスへ入会し、通っているうちに体操教室もあることを知り、2年目からは体操も始め、現在もストレッチ教室に通われています。

様々なYMCAの大人クラスの中でも一番熱中したのが社交ダンス。社交ダンスの試験で上を目指し、メダルテストの最高峰であるスーパーファイナルの資格を取りました。途中でやめられない性格に加えてチャレンジしていく楽しさを感じられていたようです。また、クリスマスの発表会、ホテルで新年のダンスパーティーも素敵な思い出になっています。

長く続けているご趣味がもうひとつあります。40歳から始められた盆石(ぼんせき)です。小島さんのお母様が残された盆石の道具や本を見て始めました。黒塗りのお盆に、白い砂や石で風景を描く一期一会の芸術です。今は月2回教室のみなさんと集まり作品

を作っており、みなさんと話すことも楽しみで「やってよかった



京の風 小島とよ子

ね」とよくお話をするそうです。ミラノでの作品展示や実演、愛知県外での展覧会等にも作品を出されています。様々な楽しみの土台には、家族と過ごす楽しみがあるようで、お孫さんや曾孫さんたちと夏休みには流しそうめん、お正月にはお餅を食べたりと、ご自宅に家族が集まっています。

小島さんは、「人とのつながりは大切」「一生懸命できることがあることはいいこと」だと話してくれました。人とつながることは、いろいろな人のお話を聞いて勉強になります。例えば自分と考えが違うから否定してもどうにもならない、そんな考え方もあるのだと、勉強になったと思っています。様々な人とのつながりを楽しみながら、相手への配慮を大切にされ、今でも盆石、YMCAの体操と、いつも一生懸命に取り組み、続けられています。

## 日本語学院 お国だより

## 台湾の朝

台湾では「朝ごはんが一日の楽しみ！」と思っている人も多く、朝になると町の朝食屋さんがとてもにぎやかになります。学生や会社員も、学校や仕事へ行く前に朝食を買うのが日常です。台湾の朝食文化は日本と少し違って、外で買って食べるスタイルが一般的です。しかもメニューの種類が多く、毎日食べても全然飽きません！特に蛋餅(ダンピン)が有名です。もちもちした薄い生地に卵を入れて焼いた料理で、ハム、チーズ、ツナ、コーンなど好きな具材が選べます。お店ごとに味や食感が違うので、「ここの蛋餅が一番好き！」というお気に入りのお店を見つけるのも楽しいです。さらに、熱狗(ホットドッグ)や薯餅(ハッシュドポテト)も人気メニューです。台湾では、蛋餅の中に薯餅を入れて食べる人もいて、サクサクの食感が最高です。朝からかなりボリュームがありますが、不思議とぺろっと食べられます。そして、朝食に欠かせないのがミルクティーです。台湾のミルクティーは少し甘めで、朝ごはんとの相性がぴったりです。アイスでもホットでも美味しく、多くの人が朝食と一緒に注文します。台湾に来たら、ぜひ一度朝食屋に行ってみてください。台湾らしいローカルな雰囲気も楽しめますし、「台湾の朝」が一番感じられる場所だと思います！ (ノイ)



## 連載 事業所紹介

## スズカト(三重県立鈴鹿青少年センター)

2024年度から名古屋YMCAから他の企業さまとの共同でPFI事業(民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進事業)をスタートして早3年目を迎えました。私たちが活動しているセンターは、「F1グランプリの聖地」とも呼ばれる「鈴鹿サーキット」に隣接し、緑豊かなダイセーフオレストパーク(東京ドーム約11個分の敷地面積)の中にある素敵な施設です。ご利用いただく方々は、シーズンにもよりますが、学校・団体(一般)・企業さまなど、年間約82団体延べ12,385人ほどが三重県内外を含めご利用いただいております。YMCAは「体験プログラム活動」や様々な「自主自主事業」、イベント開催などを担当しております。公設民営でもあるので、YMCAカラーの表出は多少の制限はありますが、ご利用いただくみなさまに『みつかる つながる よくなっていく』体感をしていただけるよう今後も活動して参ります。 (三枝 隆)



## 総主事コラム

## 長靴の道

南山幼稚園の園庭には、雨が降ると「長靴の道」が現れます。一見すると平らに見える園庭ですが、実は南から北へ向かって緩やかな勾配がつけられており、雨水が溜まらないよう工夫されています。しかし、想定以上の大雨になると、その勾配に沿って水が川のように流れ、ところどころに大きな水たまりをつくりながら、北側の倉庫横にある排水溝へと流れ込んでいきます。

朝の登園時、自慢の長靴を履いた強者たちは、「水たまりを避けて歩きなさい」という保護者の声などどこ吹く風。堂々と「長靴の道」へ突入し、ときには大きな水たまりで一休みしながら、最後の最後まで自分の道を突き進みます。さらに上をいく強者は、運動靴であってもお構いなし。自爆覚悟で長靴の道へ突入して

いきます。一方、冷静に水たまりを避けて歩く賢者もいますが、時にはその誘惑に負け、そっと足先を浸して様子をうかがうこともあります。もっと冷静な子どもたちは、わざわざ園庭を横切るリスクを避け、みどり門からの登園を選びます。

同じ雨の日の登園風景でも、大人も子どもも一人ひとり判断は違います。好き嫌いの基準も違えば、楽しさの感じ方も違います。けれども、すべての子どもたちは遊びの天才であり、さまざまな体験を通して大人へと成長していくことだけは確かです。だからこそ、禁止することよりも多くの挑戦をし、自分で選択する力を身につけてほしいと願っています。そして、何をしでかすかわからない子どもたちの背中を信じて見守ってくださる保護者の皆さまにも感謝しています。最後に一句。

「五月雨を 集めて早し 長靴の道」(字余り)。

(中村 隆)

# ご寄付ご協力のお願い

## 国際協力募金

名古屋YMCAでは、世界約120の国と地域に広がるYMCAネットワークを通じて、平和で誰もが安心して暮らせる社会を目指した国際協力活動を行っています。今年度は、ウクライナ避難者支援やミャンマー大地震復興支援、パレスチナ支援などに取り組みます。これらの活動は、皆さまからの募金によって支えられています。趣旨をご理解いただき、2026年度国際協力募金への温かいご協力をよろしくお

願いたします。また、6月14日(日)には栄エリアにて国際協力街頭募金を実施いたします。

現在、参加者も募集中です。ぜひお気軽にご参加ください。詳細は同封のチラシをご確認ください。

(担当スタッフ 広瀬 謙一)

### 振込先

三菱UFJ銀行 きよなみ支店 普通 1117999  
公益財団法人名古屋YMCA

## 学童キャンプ

2016年に始まった学童キャンプは、今年で11年目を迎えます。子どもたちは豊かな自然の中で、ユースボランティアリーダーやシニアボランティアと共に過ごし、自分の好きなことや得意なことに気づきながら、さまざまな挑戦や体験を重ねています。近年、子どもたちを取り巻く環境は大きく変化し、生きづらさを抱える子どもも増えています。学童キャンプでは、家庭の経済状況に関わらず参加できるように減免制度を設け、誰もが安心して過ごせる居場所づくりを大切にしています。子どもたちの健やかな成長と未来への希望につながる活動を続けるため、皆さまの温かいご支援をお願いいたします。

(担当スタッフ 遠藤 恵美子)



### 振込先

三菱UFJ銀行 きよなみ支店 普通 1117996  
公益財団法人名古屋YMCA

※同封のゆうちょ銀行振込用紙もご利用いただけます

## 維持会員感謝・ご寄付感謝

※ご寄付をいただくタイミングによっては、掲載が前後する場合がございますのでご了承ください

### 維持会員(継続)

橋爪 良和 橋爪 圭子 岡本 栄世 種村 芳枝 嶋崎 英子 塩田 保

### 寄付金・募金

(国際協力募金) 義井 裕子 李 ゆはん 岩井ひなこ  
大岩由美子 済田 真美 原田 和実  
幸田 幸来 朱 皓宇 朱 思宇  
遠藤恵美子 あらふか あこ

(一般寄付) 中井 信幸

### 早天 祈禱会

日時 6月2日(火) 7:45~  
会場 名古屋YMCA5Fチャペル  
奨励 枇杷島教会 前田 和之先生

## お問い合わせ

名古屋YMCA 052-757-3331  
YMCAこひつじ保育室 052-757-5530  
南山ファミリーYMCA 052-831-6968  
南山幼稚園 052-831-8271  
神沢ファミリーYMCA 052-879-6300  
YMCAかみさわ保育園 052-879-6222  
名古屋YMCA日本語学院 052-531-0077  
発達サポートYMCAかみさわ 052-879-6300  
かりやYMCA保育園 0566-62-8227



<https://nagoyaymca.org>

## 名古屋YMCA 使命

「名古屋YMCAは、キリスト教精神に基づき、すべての人びとに、生涯にわたる学習の場と、社会参加の機会を提供し、相互の交わりと連帯を通して、共に生きる世界の実現を目指します。」

## 2026年度聖句

「平和を実現する人々は、幸いである。」  
マタイによる福音書 5章9節